



神を仰ぎ 人に仕う

# Chapel News

2022年12月2日(金)

No.7

## クリスマスツリーの伝説

クリスマスツリーの由来についてはいろいろな説がありますが、その中でひとつ、興味深い伝説を紹介したいと思います。以下のものは、さまざまな伝承がある中の一つです。

ボニファティウスという、8世紀にドイツにキリスト教を伝えた司教がいました。彼は、ある町での伝道の最中に、樅(かし)の巨木があるのを見つけました。樅の木には、雷・雨・農業の神であるトール神が宿るとされて、ちょうど一人の少年がその木に、生贄としてささげられようとしていました。そこでボニファティウスは、樅の木を民衆の目の前で切り倒し、代わりに樅(もみ)の若木を新しい信仰のシンボルとして差し出しました。

このお話について、世界的に知られるキリスト者である賀川豊彦は、「偶像教〔偶像崇拜〕をやめたという証拠」のためにクリスマスツリーを飾るのであるという趣旨のことを述べています。そのことはまた、「世界の歴史は愛に負けた」ことを意味すると言います。ここでの「愛」とは、「愛の運動」であるキリスト教のことを指します。そして、「愛の運動によってたゆみなく歩みつづけた。我々は尊いキリストの十字架意識を現代に活かし、我々の胸に宿して進まなければならぬ」と説いています。これは、日本が戦争へ向けて進みつつあった1933年の説教です。その説教の最後の祈りは、「非常時日本を救い世界を救い、昏迷の全人類を救いたまわんことを。神の国を一日も早くこの世に築かせたまわんことを。キリストの御誕生を回想しつつその十字架によって祈ります。アーメン」というものでした。

この祈りにも示されているように、イエス・キリストがこの世においでになられたクリスマスの出来事は、十字架による救いと一つのものであり、また、現実の状況にも相渉る力を持つものなのです。

(人文学部チャプレン 柳田 洋夫)

## 2022年度 年間聖句

主は人の一歩一歩を定め 御旨にかなう道を備えてくださる。

(詩編 37 編 23 節)

## 12月 月間聖句

「いと高きところには栄光、神にあり、地には平和、御心に適う人にあり。」

(ルカによる福音書 2 章 14 節)

## 2022年度秋学期全学礼拝 9月27日(火)~1月20日(金)

全学礼拝は火曜日~金曜日です。秋学期の月に1度のチャペルでの対面礼拝週間は14時40分~15時10分で行われます。それ以外は、昨年度に引き続きキリスト教センターホームページでのオンライン礼拝配信となります。

## 聖学院教会祈祷会

毎週木曜日 18時40分~19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。どなたでも自由にご参加ください。

## 主の祈り

天にましますわれらの父よ  
ねがわくはみ名をあげさせたまえ  
み国をきたらせたまえ  
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく  
我らの罪をもゆるしたまえ  
我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ  
国とちからと栄えとは  
限りなくなんじのものなればなり アーメン



12月6日(火)

奨励者 村瀬 天出夫  
(欧米文化学科准教授)

司会者 菊地 順

奏楽者 村上 野花

◆ ◆ ◆

前奏  
讃美歌 109 番 1 節  
聖書 ルカによる福音書  
2 章 8~12 節、15~16 節  
(新約 P.103)

祈禱  
奨励 「Stille Nacht! Heilige Nacht!  
(シュティレ ナハト!  
ハイリゲ ナハト!)」

祈禱  
讃美歌 109 番 3 節  
主の祈り  
後奏

12月7日(水)

奨励者 清水 均  
(日本文化学科教授)

司会者 柳田 洋夫

奏楽者 富岡 真奈

◆ ◆ ◆

前奏  
讃美歌 413 番 1 節  
聖書 詩編  
1 編 1~3 節 (旧約 P.835)

祈禱  
奨励 「メント・モリ  
—私たちは幸せになるために生まれてきた—」

祈禱  
讃美歌 413 番 3 節  
主の祈り  
後奏

12月8日(木)

奨励者 安井 聖  
(日本ホーリネス教団西落合キリスト教会牧師、  
本学講師)

司会者 洛雲海(ナグネ)

奏楽者 今村 優子

◆ ◆ ◆

前奏  
讃美歌 97 番 1 節  
ハンドベルクワイアによる賛美奉鐘  
“Away in a Manger”

聖書 ルカによる福音書  
2 章 6~7 節 (新約 P.102)

祈禱  
奨励 「あなたよりも  
あなたの近くにおられる神」

祈禱  
讃美歌 97 番 3 節  
主の祈り  
後奏

12月9日(金)

奨励者 寺島 大祐  
(学長室事務課サブマネージャー)

司会者 木村 太郎

奏楽者 清水 貴子

◆ ◆ ◆

前奏  
讃美歌 338 番 1 節  
聖書 ヨハネによる福音書  
12 章 24~26 節 (新約 P.192)

祈禱  
奨励 「命を憎む人」

祈禱  
讃美歌 338 番 4 節  
主の祈り  
後奏

今後の全学礼拝(オンライン)奨励者のご案内

全学礼拝のオンライン礼拝配信は、キリスト教センターのホームページからアクセスできます。

聖学院キリスト教センター



- 12月13日(火) 吉岡光人先生 (日本キリスト教団吉祥寺教会牧師、本学講師)
- 12月14日(水) 東野尚志先生 (日本キリスト教団滝野川教会牧師、本学講師)
- 12月15日(木) 村上純子先生 (心理福祉学科教授)
- 12月16日(金) 小林茂之先生 (日本文化学科教授)
- 12月20日(火) 大坪園子先生 (日本キリスト教団熊谷教会副牧師、本学講師)
- 12月21日(水) 【クリスマス礼拝(対面礼拝)】  
小泉 健先生 (日本キリスト教団成瀬が丘教会牧師、東京神学大学教授)
- 12月22日(木) 堀江知己先生 (日本キリスト教団前橋中部教会牧師)
- 12月23日(金) 帆苅基生先生 (弘前大学教員、本学講師)

◇クリスマス礼拝のご案内◇

12月21日(水) 10:50~11:50 <チャペル対面>

<メッセージ> 小泉 健先生

(日本キリスト教団成瀬が丘教会牧師、東京神学大学教授)

「神に栄光、人に平和」

ルカによる福音書 2 章 1~14 節

小泉健先生のプロフィール

1967 年長崎生まれ。  
1990 年大阪大学文学部卒業。いのちのことは社勤務を経て献身し、東京神学大学で学ぶ。  
1997 年から日本基督教団教師。2002~2007 年、ドイツ・ハイデルベルク大学に留学。  
2008 年から東京神学大学の教員になり、現在教授。  
教会の牧師としては、日本基督教団五反田教会、センター北教会に仕え、2017 年から成瀬が丘教会牧師。



次回の Chapel News 発行日は、1 月 6 日(金)です。